



エクシード茅ヶ崎 防災活動ニュース

発行NO 第8号

発行日 2024年10月27日

発行 エクシード茅ヶ崎
自主防災会

2024年総合防災訓練「秋」実施

全戸対象の津波避難訓練 上層階への避難等 約130世帯が参加

2024年度防災活動計画に基づき、防災訓練「秋」を10月13日(日)9時20分から当マンション全戸対象に実施しました。

今回の訓練で、約130世帯が参加され、その内の約100世帯が「黄色いタオル」を結び避難、また、インターホーンによる訪問応答は約30世帯であり、避難訓練への参加意識の高さが表われた。



訓練前にトランシーバー操作説明



拡声器での避難放送

自主防災運営委員は8時半に防災本部(2階洋室)に集合し、防災リーダーによるトランシーバーの使い方の説明、訓練役割分担の指名を行った。

訓練は、震度6弱の地震発生により、9時20分に津波警報発令、上層階へ避難するよう放送開始、住民は「黄色いタオル」を玄関前の手すりに結んで1階～4階は5階以上の上層階に5階以上の住民は開放廊下に待機、自主防災運営委員は、ホイッスルを鳴らし(今回より実施)、各階の住民に上層階へ避難の呼びかけ、各階の状況を無線を使って防災本部(2階集会所)へ連絡、防災本部では各階担当の自主防災運営委員からの避難状況の連絡を受け確認・フォローを実施した。(避難所要時間は津波発生放送後、約15分程度で上層階への避難が完了) また、要支援者対象の方へは、車椅子と共に避難告知訓練を行いました。

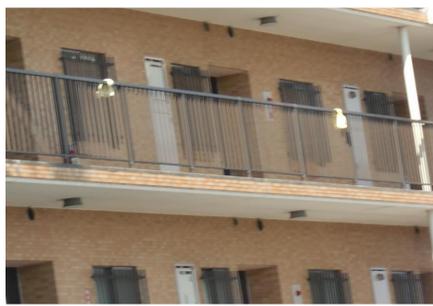


自主防災運営委員は「黄色いタオル」を結んでない戸へ、5階以上の上層階への避難呼びかけ

避難訓練終了後に住民避難者は2階ロビーに集合し、市職員2名の方により「能登半島地震災害の支援」について、講話頂き、また、防災用品に関し、サンプルにて使用方法などについて説明していただきました。



車椅子と共に要支援者へ避難告知



手すりに黄色のタオルを結び避難



各階の避難状況を集計



終了後、2階洋室にて訓練総評実施

1月1日発生した「能登半島地震」後の災害支援について市の職員より説明



市の職員より災害支援の報告

2024年1月1日発生した「能登半島地震」後、2月中旬～約1週間交替で現地(石川県志賀町)への災害支援に行かれた茅ヶ崎市の市職員(防災対策課)2名(山ノ上さん、渡部さん)の方をお招きし、写真による生々しい現地の被害状況、経験、感じた事等について、講話して頂きました。

被災する覚悟を決め、意識を変えて、行動しましょう！

講話の中で、次の事を話されました。

- ・災害はいつ起こるか分からない、自分が被災する覚悟を決め、意識を変えて行動する。
- ・電気、ガス、水道等が止まり、復旧までとても時間がかかる。
- ・避難所へ水をもらいに行く場合、ポリタンクよりも、リュック式などの背負えるものを用意したほうが、両手が塞がらず、また、身体への負担減にもなるので好ましい。(左の写真参照)
- ・各戸で食糧、水、簡易トイレ等必要物資は、備蓄はできる限り、7日分(最低3日分)は備えが必要。



現地状況、経験、感じた事を説明



エクシード茅ヶ崎自主防災会は、毎月「自主防災会議」を開催し、防災訓練や防災備品等の購入・管理等について、討議・実施を行っています。